

# 平成24年度 事業報告書

社会福祉法人 河北会

## 【 総 括 】

平成24年度は、事業計画のとおり理事会、評議員会、監査出納調査が行われ、継続事業としては平成23年度から引き続き「介護職員処遇改善交付金」を申請し介護職員 の処遇改善を行った。「事業推進委員会」も定期的な会議を行っている。その他継続的な事業及び新たに取組んだ事業、研修等については以下のとおり

- 1 盛岡市の実地指導監査が行われ改善事項については適正に対応、報告した。
- 2 社会福祉法人会計基準に基づき新会計に移行した。
- 3 中央ブロック高齢者福祉協議会研修部会の4年間の任期を終了した。
- 4 規定類の改定を行った。(就業規則・経理規定)
- 5 感染性胃腸炎(ノロウイルス)により入居者・職員が発症したが保健所の指導の下、適切に対応し、感染の拡大を抑えることが出来た。
- 6 安全委員会(「医療的ケア対策推進委員会」より名称変更)を設置し、介護職員がたん等の吸引が行なえるよう研修を行い、資質向上に努めた。又、厚生労働省からの通知に基づき指導看護師の研修に参加させ内部研修に対応出来る体制を整えた。
- 7 介護雇用プログラムを盛岡市より受諾、6名を採用、離職者に就労の場を与え働きながら資格を習得させた。(本人都合により3名退職・3名は引続き雇用)
- 8 震災後、岩手県の要請により、被災者を宮古地区を中心に最大13名を受入れ3月31日現在、1名が継続して入居している。
- 9 ユニットケアリーダー研修に参加させ職員の資質向上につなげた。
- 10 居宅介護支援事業所として、要援護高齢者が在宅で安心して生活をしていただけるように、利用者の意思の尊重と、介護者の精神的な負担、体力的な負担を理解し最適な支援に努めた。

## 法人の運営

### (1) 理事会の開催状況

回数	月日	場所	出席者	議案
1	5・19	2F会議室	理事9名 書面1名 欠席0名 監事2名	報告第1号
				介護職員による「たんの吸引」の実施について
				議案第1号
				平成23年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第2号
				平成23年度社会福祉法人河北会決算報告について
2	12・18	2F会議室	理事8名 書面2名 欠席0名 監事2名	報告第1
				盛岡市の監査指導について
				議案第3号
				平成24年度河北会予算の補正について
3	H25・2・5	2F会議室	理事10名 欠席0名 監事1名	議案第4号
				社会福祉法人河北会就業規則の一部改正について
				議案第5号
				盛岡市監査指摘事項の報告について
				議案第6号
				社会福祉法人河北会旅費規程の一部改正について
				議案第7号
積立預金の積み立てについて				
4	H25・3・26	上田公民館 会議室	理事8名 書面2名 欠席0名 監事2名	報告第1
				監査改善報告の専決について
				議案第8号
				平成24年度社会福祉法人河北会予算の補正(案)について
				議案第9号
				平成25年度社会福祉法人河北会事業計画(案)について
				議案第10号
				定期預金の継続について
				議案第11号
平成25年度社会福祉法人河北会予算(案)について				

## (2) 評議員の開催状況

回数	月日	場所	出席者	議案
1	5・19	3F地域交流センター	評議員19名 欠席2名 監事2名	報告第1号 介護職員による「たんの吸引」の実施について
				議案第1号
				平成23年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第2号 平成23年度社会福祉法人河北会決算報告について
2	12・18	3F地域交流センター	評議員19名 欠席2名 監事2名	報告第1号 盛岡市の監査指導について
				議案第3号
				平成24年度河北会予算の補正について
3	H25・3・26	上田公民館 会議室	評議員17名 欠席3名 欠員1名 監事2名	報告第1号 監査改善報告の専決について
				議案第4号
				平成24年度社会福祉法人河北会予算の補正(案)について
				議案第5号
				平成25年度社会福祉法人河北会事業計画(案)について
				議案第6号 平成25年度社会福祉法人河北会予算(案)について

## (3) 監査の実施

平成24年度 監事監査

調査月日	調査期日	出席者	所見・他
H25・5・9	4・1～3・31	2名	(平成24年度収支決算書)

## (4) 出納調査

調査月日	調査期日	出席者
H24.10.9	H24・4月～6月	2名
H25.3.22	H24・7月～9月	2名
	H24・10月～12月	2名
H25・5・9	H25・1月～3月	2名

## (5) 入所判定委員会

第三者委員 攝待秋雄氏

5月、8月、10月、2月の4回開催した。

佐藤敏弘氏を任命(平成24年10月1日付)

## (6) 苦情対応委員会

第三者委員 及川哲夫氏、露崎恵美子氏

5月、10月、2月、3月の4回開催した。

及川氏の死去により後任に山井英子氏を任命(平成25年1月15日付)

特別養護老人ホーム さくらぎの里  
さくらぎの里短期入所生活介護事業所

(1) 利用者の状況

要介護度別利用状況 資料 参照

(2) 施設整備の状況

- ① 修繕について  
居室のベットキャスターが経年劣化により破損が継続して発生し40台分のキャスターを交換した。
- ② ベットのマットレスの整備について  
経年劣化により変形しているため30台分を交換、褥瘡の予防に努めた。

(3) 総合防災訓練の実施状況

実	想定内容	訓練内容	参加者
6月	日中想定	総合訓練 (消火・通報・避難)	職員20名 近隣協力者3名 利用者 6名
12月	夜間想定	総合訓練 (消火・通報・避難)	職員20名 利用者 6名

(4) 研修の状況

外部・内部研修へ積極的に研修に参加させ職員に資質向上に努めた。  
詳細は別紙資料参照

(5) 広報活動

広報「さくらぎだより」を5回発行。  
ホームページでは各種行事の様子を写真付で紹介している。又、ホームページを見て施設への問合せもあった。  
ホームページの更新が進まず課題が残った。

(6) 安全委員会(医療的ケア委員会)の活動

毎月の回診時に合わせ委員会又は経過報告を行っている。

2 職員研修

平成23年に引き続き職員を受講させた。  
未受講者は、今後継続的な研修を行い全介護員が受講するよう計画中である。

(7) 介護職員処遇改善交付金

平成21年度から引続き介護職員の処遇改善を目的とし岩手県に申請、承諾を得て実施し併せて盛岡市へ処遇改善体制加算を届け受理された。

厚生労働省より、緊急雇用対策として創設された「働きながら資格を取る「介護雇用プログラム」を盛岡市より受諾。離職者を雇用、ホームヘルパー2級を受講させ資格習得させた。年度末には雇用を継続する旨を通知、就業中である。  
採用人数 6名(内3名は家庭都合により退職)

## (9) 実習生の受入状況

種別	学校名	人数	期間
介護福祉士	盛岡医療福祉専門学校	8名	5日
	北日本医療福祉専門学校		4週間
介護職員基礎研修	介護労働安定センター	4名	5日
ヘルパー2級	ニチイ学館 三幸福祉カレッジ ヒロキャリアスタッフ	120名	2日
介護体験学習	岩手医科大学 医学部	5名	5日

## (11) 交流・ボランティア・福祉体験受入れ等の状況

### ① 受入状況

定期的な唄、踊り等のボランティアの受入れ、地域の中学生の体験学習など色々な方々と交流を持つことができ社会参加の機会となり、利用者だけでなく家族からも喜ばれた。

### ② 外出の交流状況

四十四田公園や高松の池の桜を観に外出をしたり、ショッピングセンターへ出かけ、買物や外食を楽しんだ。

## さくらぎの里居宅介護支援事業所

地域連携の強化・要介護者への支援を目標とした。

### 実施報告

- ① 利用者や家族からの相談に対し、訪問、電話、来所等、様々な方法により対応を図った。利用者や家族の依頼により、要介護認定申請手続き業務を代行する等、利用者の便宜を図った。利用者や家族に対し、適切な意思決定ができるよう介護保険及び、各サービス事業所や医療機関に関する情報提供に努めた。
- ② 認知症高齢者への支援のため、地域での研修へ参加し、専門知識の習熟に努めるとともに、利用者・家族・医療機関・サービス事業所との連携を密にし、利用者本人に最も適切なサービスの提供を行い、継続的に支援を行った。
- ③ 十分なアセスメントを行い、利用者や家族の意向に基づいたケアプラン作成を行いながら、生活における問題点の改善が図れたかどうかのモニタリングを行った。
- ④ 居宅支援事業所のパンフレットや広報を、地域や事業所等へ配布した。

平成24年度主要行事

年	月	日	主な行事
H24	4	4	お茶会
	5	13	人形劇(ボランティアこ☆しえる)
		15	花壇・菜園の種まき
		31	北のナツメロ合奏団
	6	2	チャグチャグ馬コ 来所
		13	フラワーアレンジメント
		17	菜園作り
		27	避難訓練
	7	11	フラワーアレンジメント
		21	夏祭り
		23・25	救急法・AED研修
	8	17	菜園 野菜の収穫祭
		29	フラワーアレンジメント
	9	8	敬老会
	10	12・24・31	外出(イオン・アネックス他)
		4	朝顔の種取り(次年度の花壇用)
		13	玉山中学校より車椅子贈呈
		24	フラワーアレンジメント
	11	1	寿司の日 三寿司 来所
		10	介護の日
		20	松園中学校 職場体験学習
		24	北のナツメロ合奏団
	12	15	クリスマス会
25		避難訓練	
H25	2	9	節分(豆まき)
		11	郷土出身力士来設(四つ車・錦木)
定期	毎月	1・3(水)	お茶会
各ユニット行事			外出、買物(イオン・手作り村他) 季節行事(お花見・芋煮会・クリスマス会・豆まき) 誕生会 入居者主催の喫茶店 震災追悼の灯籠作り 他

## (生活介護係)

- ① 行事・外出・趣味活動について  
(ユニット行事)お花見・ショッピング・料理作り・外部の方を交えての音楽療法  
・フラワーアレンジメント・喫茶  
その他、震災から2年後ユニットで灯籠づくりを行い、3月11日に皆で黙祷した。  
灯籠そのものを作ることに参加できる利用者さんは少なくスタッフが殆ど作ったが、  
その作業を見ている利用者さんの情動面に大きく働きかけることができた。
- ② 24時間シートの活用と個別支援  
個別の24時間シートを各部署にも配布し、その情報を共有しながらカンファレンスに  
望んだ。又、ケアの統一を図るための工夫として情報シートを集約し、いつでも見れる  
場所へ変更した。
- ③ 医療的ケアの研修  
介護職員による痰吸引等の医療的ケアの50時間研修へ参加し、認定後、施設内で  
他のスタッフへの指導を行っている。
- ④ 介護職員のスキルアップ  
各研修への積極的な参加を促し、その後職場で活かせる様に指導した。

## (医務室)

- ① 利用者の健康管理、体調不良時の迅速、的確な対応を行うことについて
  - 1) 居室の温度、湿度、掛物の調整を実施した。
  - 2) 発熱、下痢、嘔吐、皮膚トラブル、経管栄養の滴下不良に対して受診し、  
内服薬・点滴の指示を受け、胃ろうの交換を行って、健康の維持を図った。
  - 3) 定期的な胃ろうの交換、予防接種を実施した。
  - 4) 3月に発生したノロウイルス感染において迅速に状態を把握し、感染者への受診を  
行い、点滴・内服薬など投薬を行った。又、他利用の者様への感染防止として
    - 1、居室対応した。
    - 2、居室、食器の掃除、消毒
    - 3、スタッフへの標準感染予防策(スタンダードプリコーション)への意識づけ
- ② 医療的ケアの研修の実施について  
基本研修と実地研修を実施した。
- ③ 介護職員の医学的知識の提供、指導について
  - 1) 感染と予測できる時、全利用者のバイタル測定を実施するよう指導した。
  - 2) クーリング実施時、動脈血を冷やすことが目的であることを伝授する。
- ④ 全職員に対する感染症の防止と予防の徹底について
  - 1) 手洗い、エプロン、マスク装着の指導。
  - 2) ユニット、特に水回りの清潔を維持することの指導。
  - 3) 拡大防止の為に、統一した申し送りを実施。適正な消毒剤の使用方法を徹底。

## (栄養課)

〈快適な食生活を遅れるよう支援する〉

- ① 栄養並びに心身の状況を考慮した栄養ケアマネジメントの実施。  
一人一人の身体状況、咀嚼・嚥下機能、嗜好・意向等や、多種類からの情報を基に栄養  
ケアマネジメントを実施し、各利用者様に合った食事の提供に努めた。



② 栄養面や嗜好面に考慮したメニューの作成、行事食の実施。

給与栄養目標量に基づき献立を作成し、接種が難しい栄養素も、味を重視して栄養強化食品を選択し、利用者様に無理なく摂取していただけるよう努めた。

行事食では、施設行事の他、四季それぞれの行事に合わせたメニューを作成し、食材も旬のものを取り入れ、食事からも季節を感じていただけるよう取り組んだ。

今までは季節ごとに年4回程度実施していたおやつセレクトも毎月実施し、また、三寿司様、ちゃんこ太五郎様、幻の屋台ラーメン作山様等、専門家によるお食事の提供や、栄養課職員による大晦日、節分のお寿司の提供、冬季の土鍋料理の提供も定着し、利用者様にも喜んでいただくことができた。

<食中毒や感染症の発生防止>

① 日常的な注意の喚起と衛生管理、予防の徹底。

日頃から食材・器具・調理場の衛生管理を徹底し、インフルエンザやノロウイルス流行時には消毒等により一層強化し、安全な食事の提供に努めた。

3月の感染性胃腸炎発生時には、食器、配膳カート、調理器具等、厨房内全ての消毒を強化し、食事メニュー変更を行いながら十分な加熱、消毒にて感染拡大予防に努めた。

行事食の実施状況

7月	屋台(夏祭り)
8月	ちゃんこ鍋(ちゃんこ太五郎)
9月	松花弁当(敬老会)
10月	ラーメン(幻の屋台ラーメン)
11月	寿司(寿司の日)三寿司
	喫茶(介護の日)
12月	ケーキ(クリスマス会)
	大晦日 松花弁当・年越しそば(大晦日)
2月	節分(節分弁当)
3月	中華弁当

おやつセレクトメニュー

4月	ケーキ
5月	和菓子
6月	ケーキ
7月	水菓子
8月	アイス
9月	ケーキ
10月	ケーキ
11月	まんじゅう
12月	無し
1月	中華まん
2月	菓子パン
3月	ケーキ

## (機能訓練)

＜施設利用者の心身機能、ADLの維持向上を支援する＞

### ① 日常的な機能訓練の実施

リハビリの内容については、担当者会議などを通してご家族様に伝達を行い、午前は、一階のリハビリホールにて、リハビリ希望者様に各種リハビリの提供を行った。午後は、各ユニット、ショートステイ利用者様(希望者)に対し実施している。

また、園芸作業や各種アクティビティ、コーラス活動、ユニット・施設行事、ボランティアら来設行事など、多くの利用者様に参加していただき、生活にハリを持っていただけるよう実施や働きかけを行った。

3階地域交流センターで、5回映画鑑賞会を行う。入居者・ショート利用者に喜ばれた。

### ② 他職種と連携を行い、生活に密着した機能・能力の維持・改善を図る。

利用者様の心身機能の維持・改善に対し、日常生活動作の継続をはじめとして、生活を見守り支援する介護スタッフ、医療的側面からの助言・支援を行う医務スタッフの介入は不可欠であり、カンファレンス等を通して、情報・意見交換、ならびにリハビリ的側面より生活に関わる助言・提案などを行い、利用者様に改善が見られたケースも認められた。